

# 消化器・肝臓センター

## NEW-す NO.44

2019.2

### 糖尿病患者さん！がん検査受けて下さい！

近年、日本人の2人に1人ががんになり、6人に1人が糖尿病とその予備群と推計されています。糖尿病と癌疾患には、加齢、肥満、不適切な食事や運動不足などの「共通する危険因子」が存在するため、糖尿病自体ががんに関連しており、特に大腸がん、肝臓がん、膵臓がん等の消化器がんの増加に密接に関連しています。

健康的な食事、運動、体重コントロール、禁煙、節酒は2型糖尿病およびがんの罹患リスクを減少させるため、主治医の先生から生活指導を受けるとは思いますが、さらに糖尿病患者さんは、がんの予防のために、科学的に根拠のあるスクリーニング検査を受診するよう推奨されています。



検査で  
全てのがんが  
発見できるの？

そこで、早期発見・早期治療を目指し「消化管内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ）」や「腹部エコー検査」を行います。

例えば、胃カメラを行うことで、現在胃がんや食道がんにかかっていないかのチェックが出来、必要時その場で生検検査をする事で診断や治療につながります。またピロリ菌の除菌を行うことで胃がんの発生率を下げる事が出来ます。

大腸カメラでは早期のポリープやがんを内視鏡的に切除可能です。さらに糖尿病の患者さんで採血による肝機能障害を認めている方の中に既に肝がんを発症しておられる方もおられます。

腹部エコー検査を行うと相当進行するまで自覚症状の乏しい膵臓がんや胆のうがん、肝臓がんの早期発見の可能性が高くなります。お酒を飲まない方であっても、最近では非アルコール性脂肪性肝炎（NASH：ナッシュ）から肝硬変、肝細胞がんにつながるというわれており注意が必要です。

一般的には、医師による問診に加えて、胃の検査では年1回の胃部エックス線検査（バリウム検査）、大腸の検査では年1回の便潜血検査が推奨されています。しかし、問診やこれらの検査では明らかながんを発見することは可能でも、小さな病変や今後がんに進行する状態を診断するには不十分です。

早期発見、  
早期治療を  
目指す検査とは、  
どのような  
ものですか？



当院消化器内科ではスクリーニングの上下部内視鏡検査や腹部エコーを受けることが可能です。気になる方は、是非一度受診してください。



市立貝塚病院  
TEL : 072-422-5865

消化器内科 岡原 徹・垣田 成庸